

町民の皆様へ新春のお慶びと

ごあいさつを申し上げます

平成31年の年頭に当たり、町民の皆様には日頃から町政に対する温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

平成最後の年となる本年は、新宮町としても節目の年になるものと思っております。人口急増に対応したハード整備事業は、平成31年4月の新宮東中学校開校をもって、一段落いたします。

平成30年から第6次新宮町総合計画の策定準備に入り、策定に当たっては、「人口減少社会を踏まえた持続可能なまちづくり」を大きなテーマとして捉えています。現在は発展を続けている新宮町も、いずれは急速な高齢化・人口減少が待ち受けています。その時に、町民が安心して暮らし、心の豊かさを実感できる地域社会を作っていかなければならないと考えています。

平成31年4月には、二期8年の町長任期満了を迎えます。町民の皆様の信託と多大な協力を得て、多くの事業や施策を行うことができましたことを心より御礼申し上げます。



新宮北小学校と新宮東中学校の建設はもとより、町内すべての幼稚園・小中学校に、他市町村に先駆けてエアコンを整備するとともに、中学校の完全給食の実現やプール改修、乾式トイレへの改修など、多額の財源を必要としながらも、義務教育施設を含む子育て環境の充実を図ることができました。また、防災行政無線施設の更新による情報配信の充実や防災活動拠点施設の整備など、住民の安全を守る施策が推進できたことも一定の成果であると思っています。

さて、平成31年度は、5月に元号の改正、10月に消費税の増税および幼児教育・保育の無償化が予定されています。さらには、高齢者雇用、外国人労働者の受け入れ、人工知能（AI）の普及など、社会の仕組みが大きな転換期に差し掛かっているように感じられます。

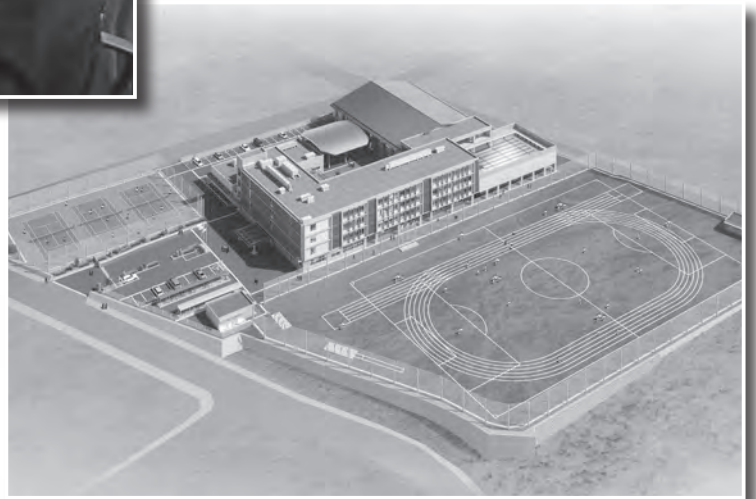
このような変革は、町民生活や行政にも大きな影響を及ぼすものと予測されます。しかしながら、前途多難な時代ほど地域の力を結集して「住み良い新宮町の実現」に向けた取り組みを進めていく必要があります。どうか、町民の皆様の一層のご参加とご協力をお願いいたします。

平成31年1月

新宮町長 長崎 武利



▲無線室から緊急情報を一斉配信



▲新宮東中学校完成予想図
(図はイメージです。変更になる場合があります)